

令和5年5月23日

報道各位

一般社団法人
全国公私病院連盟
会長 邊見 公雄

〔 照会先：地域医療・介護研究会 JAPAN 〕
TEL 075-366-6333
FAX 075-366-3334
携 帯 090-7106-2428

紙上記者会見要旨

全国公私病院連盟の5月の「理事会」を（5月19日）をオンライン方式で開催しました。テーマ等は以下のとおりでしたので、その要旨を報告します。

1. 全国公私病院連盟「令和5年度（第64回）・定時総会」開催へ

- (1) 期 日：令和5年6月14日（水）
- (2) 会 場：全国町村会館（〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-35）
- (3) 日 程：

【記念講演】2:00～ 3:30

「新型コロナウイルスのこれまで」

講師：公益財団法人 結核予防会 理事長 尾身 茂 先生

【定時総会】3:40～ 5:00

議案審議 [1号議案] 令和4年度事業報告書（案）

〔2号議案〕令和4年度収支計算書（案）

〔3号議案〕役員の改選

〔4号議案〕顧問の推戴（案）

〔5号議案〕「決議」（案）

【記者会見】5:15～5:45

2. 定時総会で決議する内容の検討（意見の要旨）

- ・ ロシアのウクライナ侵略や日銀の異次元の金融緩和策による円安などでエネルギーや食料など輸入を中心とする物価高が我が国を襲っており、我々病院も光熱費や入院患者の食材・医療材料などを中心に未曾有の高騰に見舞われている。しかし昨年4月の診療報酬改定は実質マイナスであり、過去15年間を振り返っても殆ど上昇していない。
- ・ 政府の唱える「新しい資本主義」達成のためには、その中核部隊である医療・介護に対して手厚い処遇が絶対必要条件であると考える。故に入院基本料の大幅アップを希望する。
- ・ 医療に掛かる控除対象外消費税については、広く国民に対し消費税は最終消費者に関するものであることを説得し、医療に掛かる控除不能消費税は課税とすることを要望する。
- ・ 医師の偏在是正及び医師の働き方改革の対応については、令和6年4月から時間外労働の上限規制等が適用されるが、大学病院から医師を引き揚げられることも懸念される。特に、地方の病院は、医師確保が一層困難になるという悪循環に陥り、地域医療を維持できなくなるおそれがある。必要に応じ柔軟に実効性（即効性）のある対策を講じるとともに、地域医療の確保に支障が生じないよう必要な配慮をすること。
- ・ 政府が進める医療DXには期待しているが、診療報酬改定の度にかかるソフトの改変、約5年ごととされる機種の更新などの病院負担は多大であり、健全な医療活動を圧迫している。また、サイバー攻撃対策は高い費用を要し、現在の診療報酬では地方の中小病院をはじめ多くの病院には実施不可能であるので、これら費用の公的支援を要望する。

- ・ 新型コロナウイルス感染症については、5 類変更後も引き続き、同感染症に対応するための体制を維持する必要性（病床の確保、PCR 検査、人材の確保・教育等）が生じているので、現在措置されている診療報酬上の特例を令和 6 年度診療報酬改定まで継続するとともに、令和 6 年度においても、必要に応じて新型コロナウイルス感染症関連補助事業を継続すること。

3. 第 33 回「国民の健康会議」開催の検討

- (1) 日 時：令和 5 年 10 月 26 日（木） 午後 1 時～5 時
- (2) 会 場：日本教育会館「一ツ橋ホール」
(〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2)
- (3) テーマ：少子化を考える ～ こどもたちは何処へ行った？ ～
- (4) 日 程：

【前半】講演「医師から見た少子化」

座 長：渡辺古志郎（横浜市立市民病院・名誉院長）

出 演：大濱 紘三（産婦人科医の立場から）

出 演：瀬戸 嗣郎（小児科医の立場から）

出 演：細井 創（女子学生への意識調査より）

【後半】鼎談(ていだん)「少子化政策のビジョン」

座 長：行天 良雄（医事評論家）

出 演：邊見 公雄（全国公私病院連盟・会長）

出 演：自見 英子（参議院議員）

出 演：阿部 知子（衆議院議員）

以上